

WYS交換留学生OG・OBからのひとこと(1)

留学期間中の WYS Student Report 及び留学後の感想文をもとにしています。



廣瀬 玲士 千葉県立成田国際高等学校2年時に留学 **アメリカ**

2013年度WYS交換留学生
米国ニューメキシコ州Clayton High School留学

●今学期の時間割(8月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
8:00 ~ 8:50		Shop	-----	-----	-----	----->
9:08 ~ 9:58		Algebra II	-----	-----	-----	----->
10:02 ~ 10:52		Chemistry	-----	-----	-----	----->
10:56 ~ 11:46		Geometry	-----	-----	-----	----->
12:49 ~ 13:39		English III	-----	-----	-----	----->
13:43 ~ 14:33		History	-----	-----	-----	----->
14:37 ~ 15:27		Bay Athletics	-----	-----	-----	----->

●友人・家庭生活・英語の上達について(1月期のレポートより)
話をしたりランチを食べたりする友人だけでなく親友がいます。努力はしています。日本の事を聞かれたら沢山話すようにしたり、常におもしろい事ばかりしています。日本では数学や化学で遊んでいるので教えてあげたりもしています。ホストファミリーが花屋なのでお店を手伝ったり(力仕事や接客など)、料理もしています。土日のどちらかに教会(なるべく家族と)に行きます。このシーズンはバスケの試合が入っている時が多いので、教会に行けない時もあります。英語は周りから上達したと言われます。1時間目の自習時間に、SATの勉強をパソコンを使ってやっています。最初は単語から、そしてReading, Mathと50分の時間を充実させるようにしています。

●今までの留学生生活を振り返って(1月期のレポートより)
とにかく楽しくやれていることが幸いです。11月にバスケを始めて以来、前より忙しいですが練習も毎日友達と頑張っています。3月の中旬には陸上のシーズンに移行するので自分は長距離に挑むことを考えています。家族とはいつも笑って、時には子供達を叱ったり、もちろん家事も手伝っていますので、本当の家族の一員になれた気分が嬉しいです。いろんな所へ連れて行ってくれますし、学校では毎日の授業が楽しみです。今年に入ってからスペイン語も始めて、いよいよ3カ国語しゃべれるようになれそうです。残り4カ月ほどですが、出来るだけ多くの思い出を作ってから帰国したいです。



西村 佳 立命館高等学校2年生時に留学 **アメリカ**

2013年度WYS交換留学生
コロラド州Elizabeth High School留学

●あなたのホストスクールを紹介して下さい(11月期のレポートより)
僕の学校は正直小さいです。だから、他の学校とは少し違う感覚が多いと思います。すごく安全なのもありますし、とにかくいい生徒の多い学校です。誰かを下に見たりすることも、性格がめちゃくちゃ悪い生徒もあまりいません。あと、学校の規模の割にスポーツが強いんです。ここの高校生は日本の高校生とは全く違います。まず、こっちの高校生は日本の学生よりもっとオープンで、僕的には人間としてもっとかっこいい感じがします。もちろん人それぞれですけど、例えば学校のハンディキャップの子供達にもみんなと同じような感じで喋れるし、勉強する時はする、派目を外す時はめちゃくちゃ外すって感じです。クラブも絶対土日は休みだし、家族も大切にするし、もっと感謝もしています。日本を全否定する気は全然ありませんが、もっとみんなが思ったことを言って、本能で生きているという感じがします。

●学校生活について(9月期・10月期のレポートより)
授業は全教科大変難しいです。数学は思ったより難しく、計算機の使い方がよく分かりません。PCは単純に苦手です。クラスの雰囲気は、全体的に予想と変わりがなく、すごく自由な感じがします。でも、クラスでは絶対誰も寝ません。宿題は正直多いですが、でもみんな小さいことは気にしないし、優しいので何とかなっています!楽しいです!

小林 夕里子 神奈川県立平塚中等教育学校4年生時に留学 **アメリカ**

2013年度WYS交換留学生
ワシントン州North Mason High School留学

●履修教科について(8月期から1月期のレポートより)

1学期: Pre-Calculus A, Digital Photo, Marine Biology, English 10A, Chemistry A,
2学期: US History A, English 10B, Psychology, Concert Choir, Pre-Calculus B
1学期は、読解量の多い教科は後回し、文理・実技のバランスに注意をしました。Digital Photoはテーマに沿って写真を撮ります。先生が説明を終えた後に、Questions, Comments, Concerns, Clean Jokesを言うのがおもしろいです。12月になり英文を読んでも前よりすらすら読めることになったと思います。言いたいことも前より通じるようになりました。先生には質問をしまくったので、名前も覚えてくれました。後期になり、だいたい学校生活に慣れてきたので、読解力が必要なPsychologyを取ることにしました。US Historyは提出物は平気ですが、テストで点が取れません。English 10は小説の読解が難しく、Psychologyは専門用語の訳が大変です。

●今までの留学生生活を振り返って(1月期のレポートより)

最初のうちはいろいろ不安なことが多かったけれど、今は楽しくやっています。やっぱり名前を覚えてもらえない…。人にもよりますが、普通に話しかけてくれたり、日本のことに興味を持ってくれたり、どっか遊びに行こうと誘ってくれたりしてくれる友達がいっぱいあります。あと、先輩・後輩の概念がそれほど強くないので、そういう意味で精神的に疲れることがなくていいです。留学生生活を支え、応援してくれるみんなに感謝です!

日本から持ってきて良かったもの

折り紙、ヒートテック、水筒、和菓子、クラスからの色紙、メガホン、綿入れ、カイロ、ジャージ、楽譜

必要なかったもの

赤ペン(強いて言うなら)



伊東 佳奈 渋谷教育学園渋谷高等学校1年時に留学 **アメリカ**

2011年度WYS交換留学生
カリフォルニア州Sheldon High School留学

●学生生活の始まりについて(8月期・9月期のレポートより)

前期の履修科目は、Chamber Orchestra, English, Biology, Japanese, Japanese(上級)は選択科目、地域カウンセラーに進められました。毎日授業が同じなので、毎日顔を会わせるから友達が出来たけど、勉強が大変!ホストブラザーは勉強しなくても、自分はずっとして、1日に2から3時間勉強しています。勉強づくめでいいのでしょうか?!Biologyは用語が分からない。とりえず辞書で調べて、ある程度予習をしないと授業に間に合わない。Essayもあるし、家で勉強が大変です。クラブはJapan ClubとKMC(Korean Music Club)に入りました。毎週Meetingがあります。まだ始まったばかりですが、KMCでは、ダンスをするつもりです。ショーケースがあるので、そこで発表するみたいです。どちらのクラブも楽しいです。

●英語の上達に関して、注意や実践していること(12月期のレポートより)

話すこと。友達と、それから家でテレビを見ている時とか。やっぱり前より話せるから上達した、でしょう。それから本を読むこと。前期、Twilightシリーズを全て読みました。そのおかげか、Text bookを読むのも、そんな苦ではないですね。分かんない単語はとりえずはっとけばいいのです!そしたら、何が言いたいか理解できるようになります(きっと)。あともう一つ、8月24日から本当に毎日書いているのですが、それをJapanese→Englishに。楽しいですよ。気分が浮かない時は、日本語だったりですけどね。

日本から持参して良かったもの

バイオリン、紙の辞書、教会用の正装・靴、料理のレシピ、アルバム

必要なかったもの

ノート(バンダー用の穴がある紙を使うから本当に5冊もいらなかった)



菊地 達矢 福岡県立小倉高等学校1年時に留学

ニュージーランド

2013年度7月期WYS交換留学生
ニュージーランド Wainuiomata High School 留学

●学校生活について (1月期のレポートより)

学校生活の中で一番楽しいことはComputer クラス、一番嫌なことは時々訪れる孤独タイム (何か周りに誰もいない時間)。好きな科目はComputer、得意な科目はScience、MathとAccountingの先生の授業が楽しいです。

履修科目について

○Math: 計算機前提なので、自分で持っていった日本のものをやりつつとすれば良かった。まあおもしろかった。

◎Science: 自分が好きな科目で、先生にも褒められてモチベーションが上がった。単語も色々覚えた。

×Geography: 初めの頃取っていました。正直難しかったので変更 (理解できるが、考える時にはもう話題が変わっていた)

◎Computer (Level 1,3): 難しかったが、それ以上に取って良かった。

○ESOL: どうだろう…。色々興味深かったが、Englishでも良かった (未期取る)

△Accounting: とにかく難しかったが、友達が結構教えてくれた。でも難しかった。

好きな科目を取った方がまわりと話しやすいからいいと思います。でも、逆にAccountingなどは教えてもらうことで、友達と仲良くなったりもしたので。運がからむと思います…。

●Host Countryで珍しい食べ物について (12月期のレポートより)

- ・ベジマイト、マーマイト (パンに付けて。自分は大嫌い)
- ・Pablova (野菜、肉なんかをオープンで焼いたもの)
- ・L & P (飲み物) ・Fish and Chips, Lamb (NZだけではなく)
- ・Sub Way (サンドイッチチェーン/少なくとも北九州にはないはず)
- ・Pie (mince, stake, etc) ・Blade Pudding (怖くてまだ食べていない)
- ・Pana Fritter (貝) ・Hokey Pokey (甘いアイスの味)

足立 圭 開星高等学校2年時に留学

ニュージーランド

2013年度4月期WYS交換留学生
ニュージーランドManawatu College 留学

●英語の上達・今までの留学生生活を振り返って (10月期のレポートより)

周りの人達から上達したねと言われます。その時は、とてもうれしいです。自分自身でも最初の自分と比べると、落ち着きもあるし、聞き取れるし、成長を感じています。今までの留学生生活を振り返ってみると、最初の頃はいやなことたくさんありましたが、一つ一つホストファミリーや先生などに相談し、解決して少しずつ留学生生活が有意義なものになっています。たまにもう親からのメールなどを読むと、英語上達への向上心が出てたくさん勉強したりしました。親とのコミュニケーションも大切だなと思います。

●あなたのお宿舎について (8月期のレポートより)

Manawatu College. ここでは、生徒達がゲームやスポーツに興味があると思います。なぜなら、ニュージーランドは僕らの世代からすると、あまりすることや店がないので、ゲームやスポーツに興味があるようです。私のホストスクールは、生徒と先生の距離が近いです。なので、みんな、私も含めて、気軽に相談、話をする事が出来ます。クラブ活動は、日本と違って毎日ありません。私が入っているサッカークラブは週2日です。あと、土曜日か日曜日の試合がとても多いです (正確には週3日になりますね!)。ニュージーランドの校庭は非常にひろくすべ芝です。芝でサッカーが出来るととてもうれしいです。

●1ヶ月のお小遣いと物価について (9月期のレポートより)

1ヶ月のお小遣い: 大体\$150

ニュージーランドの物価

電話代 : 1ヶ月\$17	ジュース : \$3	映画 : \$17~19
昼食代 : お弁当です	ノート : \$1	ボーリング : I've never been it.
T-シャツ : \$20~30	コーラ : \$2	



堤 涼太 啓明学院高等学校2年時に留学

ニュージーランド

2012年7月期WYS交換留学生
ニュージーランド Dannevirke High School 留学

●今学期の授業について (2月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
8:45 ~ 9:00		←----- Tutor Group ----->				
9:00 ~ 10:00		ICT	Study	ESOL	PHYSICS	ENGLISH
10:00 ~ 11:00		MATH	ICT	Study	ESOL	PHYSICS
11:00 ~ 11:30		←----- Interval ----->				
11:30 ~ 12:30		ENGLISH	MATH	ICT	Study	ESOL
12:30 ~ 1:30		PHYSICS	ENGLISH	MATH	ICT	Study
1:30 ~ 2:20		←----- Lunch time ----->				
2:20 ~ 2:30		←----- Tutor Group ----->				
2:30 ~ 3:30		ESOL	PHYSICS	ENGLISH	MATH	ICT

7月はPEとか英語をあまり使わない教科を取りましたが、今学期は将来の夢につながるような教科を選びました。パイロットになりたいので、MathやPhysicsを取ったほうがいいと勧められ、自分でも取ろうと思いました。そのPhysicsは英語の単語や説明が難しいです。友達作りは、努力しています。サッカー部に入って話しかけたり、授業で分からないところを聞いてみたり、でも基本的には話しかけてくれます!

●今までの留学生生活を振り返って (2月期のレポートより)

ようやく学校や日常での生活が問題なく出来るようになりました。みんなと話ができて楽しいです。でも、留学生生活は後半もないので、ラストスパートでもっと頑張っていきたいと思っています。自分で言うのも何ですが、結構頑張っていると思います! 日本に帰って成長した姿を見せることが出来るよう、留学生生活を後悔せずに終わらせたいです。帰りたい気持ちも反面、帰りたくない気持ちも反面、という感じです。

原田 和美 広島市立安佐北高等学校2年時に留学

ニュージーランド

2012年7月期WYS交換留学生
ニュージーランド Rangitikei College 留学

●家庭生活について (1月期のレポートより)

最初からホストマザーがとにかくたくさん話しかけてくれました。夕食後などは食器洗いをしながらおしゃべりをしています。私自身は、とにかく話しを続けるように努力しています。まだまだアイコンタクトが苦手な部分ではありますが頑張ります! ホストファミリーへの感謝の気持ちは、クリスマスなどのイベントでカードを作って渡したり、会話の中で「今楽しんでる」というような言葉を言うようにしています。最初のホストファミリーで後悔したこと (積極的になれなかった、もっと気持ちを伝えれば良かった、など) を反省して、今のホストファミリーと良い関係が築けるように頑張ります。

取って良かったと思う教科:

Music: ピアノを弾いていると“すごいね” って声をかけてもらって、友達が出来ました。(最初は学校で一番楽しいのがピアノでしたが、今は友達とおしゃべりすることです)
Math: 英語が分からなくても、何となく授業内容が分かりました。2カ月ぐらいいてからは友達に分からないところを教えるようになりました。

良くなかったと思う教科:

Technology of Food (Cooking): 3学期から入ったということもあり。授業が全く分かりませんでした。実習を期待していましたが、週に1度だけでした。残念。

日本から持参して良かったもの

かわいい文房具 (コミュニケーションにつながります!)、ポケットティッシュ、コロコロ

持ってくればよかったもの

サンングラス (サイズが日本の方があう)、薄手の上着 (1年間ずっと必要だと思います)



WYS交換留学生OG・OBからのひとこと(2)

留学期間中の WYS Student Report 及び留学後の感想文をもとにしています。

清水 真由 九州国際大学附属高等学校2年時に留学

ドイツ

2013年度WYS交換留学生
ドイツ Altkönigschule留学

●2週間の事前研修(ドイツ語)を終えて(8月期のレポートより)
2週間のドイツ語研修を受けて、もっとドイツ語を勉強したいと思いました。今は、まだドイツ語がうまく話せないけど、絶対話せるようになります!!10カ月という限られた期間の中で、自分が出来ることを精一杯やります。あたらしい環境の中で、たくさんの事を学びたいです、ドイツでしか出来ないことにどんどんチャレンジしていきたいです。研修期間で一番の思い出は、パーティーで" Winding Road "を歌うために、前日の夜、4人でコーラスの練習をしたことです。ライン川を見ながらめっちゃ歌いました(笑)。本番はうまく歌えましたよ!!パーティー、めっちゃ楽しかったです。

●今期の時間割について(9月期のレポートより)

(A)	Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
	8:50 ~ 9:20		政治・経済	音楽	体育	英語	生物
	9:40 ~ 11:10		ドイツ語	ドイツ語特別授業	英語	数学	物理
	11:30 ~ 13:00		数学	歴史	ドイツ語特別授業	-----	ドイツ語特別授業
	13:45 ~ 15:15		-----	-----	-----	-----	宗教
(B)	Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
	8:50 ~ 9:20		生物	音楽	政治・経済	英語	体育
	9:40 ~ 11:10		ドイツ語	ドイツ語特別授業	ドイツ語特別授業	ドイツ語特別授業	ドイツ語特別授業
	11:30 ~ 13:00		数学	歴史	-----	-----	英語
	13:45 ~ 15:15		-----	-----	-----	-----	宗教

* (A)weekと(B)weekがあって毎週交互に時間割が変わります。二つ時間割があります。
* 学校のクラブ活動:バスケットボール、オーケストラ、合唱団、サッカー、ソフトボールなど

●あなたのホストファミリーを紹介して下さい。(11月期のレポートより)
私のホストファミリーは6人家族で、みんなが仲が良く、とても優しいです。ホストファミリーがアメリカ人なので、みんな英語がペラペラです。家の中では、英語とドイツ語が聞こえます! Johanna(ホストシスター)とBernhard(ホストブラザー)は学校などの関係で一緒に住んでいませんが、長期休みの時は帰ってきます。ホストマザーは私の為にいろいろ考えてくれて旅行を計画してくれたり、よくクラシックコンサートに連れて行ってくれます。Elizabeth(ホストシスター)はいつも私に分かりやすくドイツ語を教えてください、悩んだ時は相談にものってくれます。よく一緒に日本食を作ります(笑)。Charaは一番下のホストシスターで、すごくおもしろいです。テーブルゲームをしたり、おどったりして一緒に遊びます。冬休みは、久しぶりに家族全員がそろうので楽しみです!



石井 咲 埼玉県立和光国際高等学校2年時に留学

フランス

2010年度WYS交換留学生 フランスLycee Sud Medoc留学

今学期の時間割

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri
08:10-09:00		仏文	歴史	歴史		仏文
09:05-10:00		歴史			英語	仏文
10:10-11:00		歴史	TPE (総合的な学習)	上級英語	仏文	体育
11:05-12:00				英語	英語	体育
13:00-13:50			仏文	英語		
13:55-14:50			仏文		理科 (曜によって調整)	
14:50-15:45		数学	数学			
			上級英語			

来学期取得予定の教科: 美術・イタリア語(予定)
必修科目: 仏文・歴史・数学・英語・体育・理科・TPE

●友人について(9月期のレポートより)

ふははは。めちゃくちゃ話しかけています。フランス語で話かけることが一番良い方法ですね!日本に興味を持っている子がたくさんなので、自然と友人も増えます。学校のクラブ活動ではなく、地域が運営する活動がフランスにはあります。サッカー、合気道、柔道、ダンス、などなどです。

●授業の雰囲気・前期を通して学んだこと(11月・12月のレポートより)

皆、授業中とても静かで、真面目。宿題も多いですが、別に苦ではないです。テストがいっぱいあり、20点満点です。先生と生徒は慣れ合わないですが、先生はとってもやさしいです。前期を通して学んだことは、留学"しても自然と話せるようにはならないという事。結局、環境が良くなるだけで、自分の努力が必要。意外にきついですね。楽しいけど。。。来学期は、もうフランス語も分かるようになってきたので、仏文や歴史の授業で発言していきたいです。

織田 満鈴 富士見高等学校1年時に留学

ドイツ

2012年度WYS交換留学生

チューリンゲン州 KÖlleda Gymnasium留学

●時間割と学校生活(9月~11月期のレポート)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
8:00 ~ 8:45		Englisch	Chemie	Deutsch	Sozial	Mathe
8:50 ~ 9:35		Englisch	Biologie	Deutsch	Geschichte	Mathe
9:50 ~ 10:35		Kunst	WR	Physik	Mathe	Astronomie
10:40 ~ 11:25		Kunst	WR	Latein	Biologie	Physik
11:45 ~ 12:30		Latein	Sport	Mathe	Ethik	Musik
12:35 ~ 13:20		Latein	Sport	Englisch	Ethik	Deutsch
13:40 ~ 14:25		Geschichte	---	(Chor)	Sport	Geographie

クラスのみならず同じように、すべての科目をとっています。選択科目は、Latein, Ethik。早く学校生活になじみ、友達を作りかけたので、初日から隣の子に「ノート見てもいい?」と聞いたり、分からないことを色々質問したりしました。次の日からは皆で中庭のようなところで15分休みや20分休みにサンドイッチを食べたりしています。先生が授業中とても早口でしゃべる上、板書もなぐり書きで読めないこともあるので、休み時間に友達にノートを写させてもらっています。始業時間が午前8時とても早いです、授業では、自分の考えや意見を述べる生徒に、先生も含めみんなが耳を傾けます。一人一人の個性、考え方を大事にしているといった印象を受けました。難しい教科はGeschichte(歴史)とEthik(哲学)、歴史は時代背景を理解すること、哲学は内容を深く理解し考えることが難しいです。評定は、学期ごとではなく、毎回のテストやプレゼンテーションの度に出ます。日本の学校と比べ、圧倒的にプレゼンテーションを行う頻度が高いです。



森田 和斗 大坂夕陽丘学園高等学校2年時に留学

イタリア

2012年度交換留学生 イタリア Istituto Marcelline留学

●ホストファミリーについて(11月から12月期のレポートより)

家族構成はホストファミリー、ホストマザー、ホストシスター、ドイツからの留学生。ホストファミリーは性格が良く似ていて喜怒哀楽が激しいです。ホストマザーはとてもおおらかな人です。ドイツからの女子留学生は、親切で優しい女の子です。家族の中で一番話すのはホストシスター、家族団楽でよく出る話題はドイツ人のホストシスターの部屋が汚すぎることです!クリスマスは24日の夜に家族で夕食をとり、25日になるのを待って、25日0時30分になるとクリスマスプレゼントをあげて、みんなではしゃいだり、ゲームをしたり、とても楽しいクリスマスを過ごしました。

●今までの留学期間を振り返って(1月期のレポートより)

イタリア留学もとうとう折り返し地点に入るととても早く感じています。最初の方は、少しくじけて家(日本)に帰りたいと思ったことが何度かありました。今になってみると、なぜなんかに日本の家が恋しくなったのか分かりません。留学期間3カ月ごろになってイタリア語も段々と上達したと感じています。友達も増えました。学校の方はまだまだ勉強について行くのは少し難しいですが、学校の方も頑張っていきたいです!

中西 志門 明星学園高等学校3年生時に留学

イタリア

2011年度WYS交換留学生 イタリア Liceo Galileo Galilei留学

●時間割と現在難しい授業について(9月期・10月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri	Sat
1		Math/Fisics	Philosophy/History	Latin/Ita	Philosophy/History	Latin	Philosophy
2		Math/Fisics	Philosophy/History	Latin/Ita	Philosophy/History	P.E	History of Art
3		Latin/Ita	Fisics	P.E	Mathematics	Chemistry	Design
4		English	Chemistry	Latin/Ita	Latin	English	Mathematics
5		Latin/Ita	English	Religion	Chemistry	Fisics	-----

* イタリアでは時間割の変更が多く、日によって変わることもあります。

●クラス風景・前期の学校生活を振り返って(11月期・12月期のレポートより)

私の学校はとても規律が取れているように思います。日本の学校では、授業中のように静かにし、先生がクラスに来たら起立するなど思いもよらない事です。また、休み時間が各1分、3時間と4時間の間に10分と圧倒的に少ないです。イタリアではテストは口頭と記述、プレゼンテーションがあり、いつあるのかは科目ごとに異なりますが、口頭試験はいつになるのか予測不能なので生徒は継続的に勉強をしなくてはなりません。クラブはないので、学校が終われば次期生徒は全員下校します。



WYS交換留学生OG・OBからのひとこと(3)

留学期間中の WYS Student Report 及び留学後の感想文をもとにしています。



Sina MARIE HAAVE

2013年度WYS交換留学生
出身高校：Elvebakken Vidergaende Skole, Oslo, Norway
留学先高校：福山市立福山高等学校

ノルウェー

ノルウェーの学校生活について：

ノルウェーの学校生活は日本と大変違ってきます。大きな違いは授業です。日本では生徒が静かに先生の話聞いて、ノートを取る授業が多いですが、ノルウェーではパソコンを使ったり、グループに分かれてプレゼンテーションを行うことが多く、宿題もあまり無く、勉強は生徒の自主性に任されています。自分の関心や興味がある教科が選択できるので、もっと深く勉強をすることが出来ます。その代り、教科の数が日本と比べたらちょっと少ないです。ノルウェーではもちろんノルウェー語の方がよく使われていますが、10代のノルウェー人ほとんど英語が話せて、またアメリカやイギリスの文化にも興味をもっています。一方で、最近日本文化(特にアニメや漫画)に興味がある子も増えていきます。そういう子の中には、日本語に興味がある子も多くおり、ノルウェーの高校でも声をかけてくれると思います。

もう一つの学校生活の大きい違いは部活。ノルウェーには部活がありません。学校では勉強が中心です。それでも、最近、何か勉強以外の活動という学校が増えていますが、現状では部活ほどの学校にも絶対にあるとは言えません。学校にある場合は、演劇部のようなもので、本格的な活動をしており、プロと同じレベルのところもあります。しかし、学校で部活がなくても、学校以外ではとても多くの習い事が出来ます。半分以上の生徒は少なくとも一つの習い事に行っています。

最後の大きい違いは、ノルウェー人の生徒はほとんど誰も塾に行っていないということです。ノルウェーでは、皆、勉強を学校か家、もしくは図書館でしています。学校で手伝ってもらえる事が多く、また図書館では無料で静かに勉強ができるので、塾は必要ともされないと思います。

一言でまとめると、ノルウェーの学校では授業中心ですが、全体的にとっても自由な環境であり、面白くて楽しいところが多いです。ユニークな時間を作り出すのも自分次第という良さがあります。日本人の高校生、大歓迎ですよ！



Thea HANSEN

2013年度WYS交換留学生
出身高校：Frederiksborg Byskole, Hillerød, Denmark
留学先高校：聖隷クリストファー中・高等学校

デンマーク

デンマークの学校生活について：

デンマークと日本では学校の仕組みが全く異なります。デンマークでは、10年間同じ学校で過ごし、15・16歳になった時に大学進学を目的とした普通高等学校(GYMNASIUM)へ進み、3年間勉強します。日本の高校に当たります。デンマークの高校では制服がなく、自分のこと自分で言うということが求められます。学校では社会と関わる様々な行事がたくさんあり、学校は日本のようにただ先生の言うことを聞き、ノートを取るという場所ではありません。デンマークでは、ほとんどの授業はディスカッションが多く、活発で楽しく、先生達は独創的な教え方により授業に関心や興味を与えます。クラスでは、自分の意見を言えること、他の生徒の意見を共有することを先生は大事にします。宿題も多く、デンマークの生徒達は忙しいです。先生達はよく提出期限が長い課題を出してくれますが、そうすると課題(たとえば5ページ分のエッセイ作成とか)が難しくなります。宿題がない時は、友達と遊んだり、アルバイトをしている生徒もいます。デンマークでは、良い成績を取ったあとはパーティーをします。強制参加ではありませんが、違う学年の生徒も参加することが出来るので、とても楽しいです。他にも、ダンスパーティー、クリスマス、イースター、ハロウィンなど沢山のパーティーがあります。基本的に金曜日の夜に行われますが、学校がある日にもあります。学校に変装して登校してパーティーになる行事をUGLY DAYと呼びます。デンマークでは勉強もしますが、気分転換もうまく、楽しむことが大好きです。

デンマークでは、多くのルールに縛られず、自由に生きるとい文化があります。この文化を通して、自分がどのような人間か、自己分析が出来ようになります。日本の高校生、大歓迎です。自分が日本で体験しているように、デンマークで多く違いにふれ、人々と交流してほしいです。



Kevin Andrew ERAZO

2013年度WYS交換留学生
出身高校：Rytmus Musikergymnasiet, Nacka, Sweden
留学先高校：明星学園高等学校

スウェーデン

スウェーデンの学校生活について：

スウェーデンの人口は950万人ぐらい、公用語はスウェーデン語ですが、ほとんどが英語を話せます。首都はストックホルムで、220万人ぐらいが住んでいる町です。スウェーデンのライフスタイルは忙しくなくて、友達と遊んだり、映画を見に行ったり、フィカしたり、ボウリングしたりします。フィカはスウェーデン人の一番好きな活動です。コーヒーショップで何か飲んで、甘いパンかサンドウィッチを食べると言う意味です。静かなスウェーデン人が多いから「フィカしましょう」はすごくいい初対面の言葉です。

さて、スウェーデン人は小学校から大学まで無料で勉強が出来ます。主要科目は国語、英語、数学で、小学校の一年生からそれらの科目の勉強が始まります。全国の学校は中学校まで大体同じですが、高校から専門の勉強が出来ます。音楽、美術、土木やプログラミングが選べますが、普通の社会系及び科学系の勉強もあります。時間割は学校によって違いますが大体は8:30~15:00です。学校が終わったら、部活がないので生徒は家に帰ったり、バンドの練習をしたり、友達と遊んだり、クラブやカルチャースクールに行ったりします。余暇の間では色々なスポーツのクラブがあって、音楽と美術のカルチャースクールもあります。学校では一般的に生徒と先生の関係は近く、先生はいろんなことを話せる存在でもあります。

学校の雰囲気は、非常にリラックスしており、自分の関心や興味のある勉強をすることも出来ます。宿題とレポートは大体フリー、そして内容は自分で選べます。また、グループワークが多いのもスウェーデンの学校の特色です。スウェーデンのライフスタイルのように学校は自由で、日本からの生徒も自主性を学ぶことになるでしょう。



中山 綾乃 茨城県立波木中等教育学校4年時に留学

韓国

2013年度9月期WYS交換留学生
韓国・山眞(イルサンデザイン)高等学校

●今学期の時間割(9月期のレポートより)

Time	Date	Mon	Tue	Wed	Thur	Fri
8:30 ~ 9:20		数学	英語 <small>(外国人先生による)</small>	科学1	英語	国語1
9:30 ~ 10:20		国語2	科学2	数学	美術1	数学
10:30 ~ 11:20		社会	家庭科	英語	〃	進路
11:30 ~ 12:20		体育	自律	国語2	韓国史	英語
13:20 ~ 14:10		技術	英語	サークル	科学2	家庭科
14:20 ~ 15:10		国語1	韓国史	活動	数学	技術
15:20 ~ 16:10		科学1	芸術2	---	社会	体育

- * 来学期取得予定の教科：日本語または中国語、文理選択
- * 必修科目：全て

●学校生活について(9月期のレポートより)

学校の日本語の先生が何かあれば、定期的に相談にのってくれます。優しい方で安心していきます。授業は全教科難しいですが、中でも国語、韓国史、自律が難しいです。国語は、分からない単語が多く、今何やっているのか見失うことも多々あります。友達作りは、やはり頑張るのみです。完全に英語で話してくれる友達と、完全に韓国語で話してくれる友達と、混ぜて話してくれる友達がいて、やっぱり、たかが会話だけでもさぞと会話、難しいです。会話は、ジェスチャーやオーバーアクションで頑張っています！

